



萩東中だより



平成28年
7月20日

NO.5

〒758-0025 萩市土原556番地 TEL0838(25)2721 FAX0838(25)3721

e-mail higashi-jh@edu.city.hagi.lg.jp

志へと高めるために、小・中学校のキャリア教育をつなぎます

～志を育てるカリキュラムづくり進行中～

校長 宇野 孝一

今回は、本校が最も大切にしているキャリア教育における小・中学校の連携についてです。キャリア教育については、これまで各学校独自のカリキュラムで取り組まれており、校種の違いやその内容について話し合うことはあまりありませんでした。

しかし、昨年度、「地域ぐるみのキャリア教育の推進 ～広げようあこがれ 育てよう夢 高めよう 志～」が萩東中学校区の小中共通テーマとなりました。それを機に、キャリア教育担当がそれぞれの学校で取り組んでいる内容を持ち寄り、一覽に整理した上で、9年間の系統性、連続性、継続性などの視点で改めて吟味することになりました。

現在、「志を育てるカリキュラム」として、これまで実践してきていることを、ふるさと学習、自然体験学習、職場体験学習や今年度萩市で新たに設けられた「子育て科」及び地域貢献活動などの視点・項目で整理しています。(別添参照) 小学校から9年間、実に多くの取組で保護者や地域の方々に支えられていることが再確認できます。

まだ完成には至っていませんが、年度中にはお示しできると思います。

ご家庭とともに「育ち・学びにおける共通実践目標」の実践を

萩東中学校区 4 校で取り組む「小中連携カリキュラム」では、「将来の展望」「あいさつ」「正しい姿勢」「鉛筆の持ち方」「自分の気持ちの伝え方」「家庭学習」の 6 事項について、学校の「めざす生徒像」、「家庭や地域の方にお願したいこと」を学年相応に設定しています。なかでも中学校 1 年生につきましては、小学校 5・6 年とほぼ同じ目標とし、小学校から中学校への切れ目ない見守り、環境の変化への円滑な適応を図っています。

将来、「社会人として大切なことを身に付け、働く喜びや人の役に立つ喜びを感じる」ことのできる生徒を育てるため、生徒一人ひとりが「志」を抱き、「夢」や「志」を意識して進路決定していくことのできる環境を整えたいと思います。そのためには、学校とご家庭とで、同じ方向での関わり方をしていくことが大切になります。

夏休み期間中、下記の点につきまして、お子様へのお声かけなど、ご指導・ご支援をお願いいたします。

- ◎ 将来の展望と気持ちの伝え方・・・職場体験や入試の面接では、自分の志を分かりやすく相手に伝えることが求められます。将来の夢や希望について、お子様の意志や考えを尊重した会話を心がけてください。保護者の皆様の職業選択に関する体験談等もお話いただくと、ありがたく思います。
- ◎ あいさつ・・・思春期を迎えると、次第にあいさつをしなくなることもあります。ぜひ、ご家庭内での「おはよう」「お帰り」などのあいさつを大事にし、コミュニケーションの糸口としてください。
- ◎ 正しい姿勢と鉛筆の持ち方・・・乱雑な文字、薄い文字などの分かりにくい文字は、入試や検定では、正答とみなされないことがあります。丁寧に、濃く、分かりやすい文字を書くためには、正しい姿勢、正しい鉛筆の持ち方が不可欠です。国語科書写の教科書にも図解で説明がありますので、参考にされるのもよいと思います。
- ◎ 家庭学習・・・1 年生 80 分、2 年生 100 分、3 年生 120 分以上の学習時間の確保をお願いします。ただし、崩れた姿勢では、集中力が低下し、学習の効率も悪くなります。腰骨を立てた座り方をご助言ください。



◆ 読書感想文コンクールに挑戦しよう!

<課題図書<の紹介>

「ABC! 曙第二中学校放送部」 著者 市川朔久子



曙第二中学校放送部 (Akebono Broad Casting Club) 略して<ABC>の部員は、現在3年生の本庄みさとと古場和人の2名のみ。新入生が入らなければ、来年には廃部になってしまいます。

その上、やる気はあるものの頼りない新顧問の先生にかき回され、また、学校一厳格な生活指導の先生には目をつけられ、ますます危ない状況に。

しかし、謎の美少女転校生 真野葉月と関わっていくうちに、放送部は大きく変わっていきます。
部活と友情と恋愛と。さわやかな青春物語です。

<その他の課題図書>

○「生きる 劉連仁の物語」

著者 森越智子

○「白いイルカの浜辺」

著者 ジル・ルイス 訳者 さくま ゆみこ



自分に合った本を見つけて、
読書感想文コンクールに
ぜひ挑戦してみませんか!

(図書支援員 守永ゆかり)

◆ 自分の身は自分で守る～安心・安全な夏休みを～

この1学期の生活を振り返ってみると、授業前の黙想や無言の清掃活動など、委員会を中心に徹底し、全体的に落ち着いた学校生活を送れたように思います。これから長い夏休みに入りますが、今がんばっているその姿が崩れてしまわぬよう、自分を律し、毎日を過ごしてもらいたいと思います。ご家庭ではこの夏休みに、お子さまと向き合う時間・共有する時間を多くとっていただきたいと思います。ちょっとしたきっかけで、子どもは大きく変わることがあります。小さな変化に気付き、早く対処していくことがとても大切です。気になることがございましたら、学校にご連絡ください。夏休みに入るにあたって、特に次の3点に注意していただきたいと思いますので、ご家庭での指導をお願いします。

水難事故防止 昨年も県内同時期11件の水難事故が発生しています。

知らない人と会わない、ついて行かない 性的被害等の危険性が極めて高い行為です。

夜間外出・外泊の禁止 子供だけの夜間外出や、友人同士の外泊は、非行や被害に至るケースが多々あります。友人同士の外泊はさせないでください。また、昼間の外出でも、行き先等を明らかにしておくことが大切です。

※長い夏休みに入りますが、お子さまには、「夏休みの心得」というプリントにそって話をしています。保護者会で配付しています。よくご覧になってください。(生徒指導主任 山本淳一)



夏休み中は、「土曜塾」を利用して、弱点を克服しよう!

今年度は、前年度を上回る多くの生徒が「土曜塾」を利用し、成果をあげています。中間・期末テスト前には、それぞれ50名を超える参加者があり、さらに、テストの次の週も20名が参加しました。「分かるようになりたい」と思い、分かるための努力をする生徒が確実に増えているのを感じます。

1学期の学習を終えて、どの教科、どの分野に課題が残っているかが見えてきたことと思います。

長い夏休み、弱点をそのままにせず、しっかりと克服して2学期の学習にそなえましょう。

《夏休み中の「土曜塾」開催予定》

7月30日(土)、8月6日(土)、8月20日(土)の3日間、朝8:10~9:00【図書室】
事前申込みの必要はありませんので、誰でも自由に参加してください。